

発行所 新潟県公民館連絡協議会
〔新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内〕
〔電話(新潟) 34111の658〕
〔振替(新潟) 4094〕

発行人 飛田一郎
(定価 1部150円)

10月号(128号)

新潟県 公民館月報

施設と職員の充実

関係条例の整備等も要望

さる九月十六日、飛田本会長、梅山、吉澤の副会長、本田事務局長の四名が出席、県町村会理事会の席上において「公民館の充実に関する要望事項(別稿)」につき約十分間飛田会長が説明、陳情した。県町村会側からは了承したと回答があった。県町村会側としては、さる三十六年安沢前会長時代から撤回にわたり合同協議というかたちで、要望がなされているが、本年度も次のような要望事項を提出し、協力を要請した。

【要 望 事 項】
本会の活動に對をいたなき感謝いたしておりまして、決して口煩深です。
さ、地域の社会教育の中心を

県町村会へ陳情

ンターたる公民館の充実につきましては、口煩たのまざる御努力をいたさき、お蔭を以て、年々整備充実されてまいりましたこと、まことに御同慶にたえないところであります。

しかしながら、全国闘志に立つた場合、本県の公民館は、その活動のめざましさに比し、特に施設設備の不均衡が目立ち、一部町村をのぞき、全般に立ち遅れていることはいなめない事実であります。町村財政多端の折、まことに恐

縮ではありませんが、社会教育の重要性を一そう御認識くださいまして、ここに左記三項目の実現につき一段の御努力をいたさきたく衷心より要望するものであります。

記

- 一、公民館設置運営基準にもとづく各町村公民館の施設設備の充実(県模範基準年度内に実現の見込み)
- 二、同基準にもとづく、各町村公民館専任職員の充実(県公民館職員講習の受講奨励)
- 三、各町村公民館条例の整備と同職員の身分保障の確立(県模範条例年度内に実現を見込み)

ことしの青少年指導者拡充研修は、昨年度同様県費二十万円の助成を得、県内公民館を対象に開催するものほか四ブロック(上下中下横縦)でも開くことになった。

10月の歴史
アリストテレス
(B・C三三三〜三二四)ギリシアの大哲学者。実践的・実証的精神にうたげられた極端かつ組織的な体系をくみだした。「形而上学」「ニコマコス倫理学」

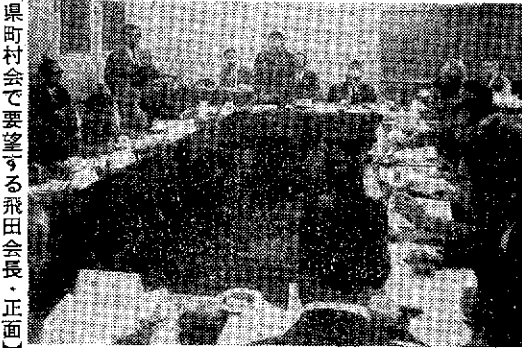
目次

車の両輪というけれど	P. 3
社説主幹と公民館主事をめぐる諸問題	
尺感素描(関プロ大参加の記)	P. 4・5
辺地へ図書館をおくる運動をすめよう	P. 7

青少年指導者拡充研修

四ブロックでも開催の方針

役人を選び出したり、また役人の責任を追究する最終の権威が大家にあるとするのは不徳だとする理論がある。そういう論法には、なにが論のありさうだ。……その理由の一つは、専門家か誰、または最良の批評家でないような青年の問題、つまり生み出された結果に対して、すぐれた専門家ではない人びとの正当な批評が許される問題が存在するからである。たとえば家の長短を批評する役割をたすのは、建築家はではない。家を使う人びと、つまり居住者が実はずっとよい批評家なのだ(政治学)より



【県町村会に要望する飛田会長・正面】

関公連大会本県は十名参加

第四回を迎えた関プロ大会は、さる9月5・6日の二日間栃木県藤原町鬼怒川公会堂を主会場として開催された。積み上げ方式による全国共通主題「地域社会における生活文化の向上発案に資するため公民館はなにをなすべきか」を中心に、行政を中心とする管理運営、2、独立専用施設をもつもの、3、併置または施設のないもの、4、国民運動と中心とするものの四部会による討議をくりひろげた。十都県から約270名が参加、本県からは飛田会長以下10名が参加した。特に梅山副会長は第二部会【独立専用施設をもつもの】の司会をつとめた。参加者が予定数を上回ったため、急に会場変更などがあり、運営面で一部まごついたところがあったが、第二日、全体討議のあと研会のうちにふじ閉会した。この大会の成果は、きたる11月13日から広島市で開催される全国大会に持ち込むことになっている。詳細は次号。



【写真は右から第二部会の司会をする梅山氏と助言者の飛田氏】

14才の成人式

本年度表彰 北条町公民館の歩み

特集「優良公民館への歩み」取材を命ぜられた私は、秋たげなわの一日、北条町公民館を訪れ館長五十嵐さん、石川康館長さん、そして主事の小暮さんに壁の白さが目にしみる応接室でその歩みをきかせていただいた。

1. 施設を持って成人

柏崎中央公民館館長西川さんの指揮するバンドが得讃歌を奏した時、館長代理として表彰状を手にした小暮さんは感激で五体がふるえたという。十四年春、村役場内に公民館が設置されてから十四年。彼が主事として就任してから十余年。男ざかりのすべてをそこにぶちこんできた北条町公民館が、県優良公民館として去る六月八日柏崎市で行なわれた第十四回県公民館大会で表彰された。

「公民館は施設をもってはじめて成人といえますね」と三人は言われた。

満十四才の成人式。以下はその成人式までの歩み。

2. 看板かついて

二十六年ころからの壮年層を中心とした文化グループ、青年、婦人団体などからの村当局への積極的な働きかけが実を結んで、待望の専任職員がおかれたのは二十七年五月だった。

当時青年団長だった小暮さんが、「まあ君ひとつやってくれ」と助役さんから渡されたのは二冊の文書袋だった。二冊の文書袋による勉強で打ち立てられた作戦方針は

- 1) 拠点としての部落リーダーの発見と養成
- 2) そのリーダーを中心とした部落での話しあいと部落行脚
- 3) そして年2〜8回のデモストレーションとしての大集会(講演、講習、討論会)

この三点だった。

村内に無数のトンネルで結ばれた駅が三つもあり、山また川の広い

村内に、散在する部落を、看板と映写機かついてでのその頃の毎日毎晩だった。

3. 私たちの手で公民館を

リーダー養成、婦人会、青年団、文化グループの集会は主として役場の二階で行なわれたが、役場の二階での慶重なる集会は、集まる方では気兼ね顔、役場の方では迷惑顔だった。こんなことから「気兼ねなしに吉が集まられる場所がぜひほしい」という声が高まり、三十年には婦人会から「私たちの手で、私たちの公民館建設資金の積立でかまはじめられた。」

4. 道路よりも公民館を

昭和三十二年には新生活運動のモデル町村となり北村知事さんを迎えての大会が行なわれ、婦人会の積立金も十万円となって理事者を刺激し、三十五年には新市町村合併促進法による事業として当局を町民会館建設にふみきらせた。

一部には「公民館よりも県下一の悪道路の改修を」という声もあったが三十五年二月の町議会の建設決議は万端一致で行なわれた。「公民館をつくってくれと理事者に訴えるより、つくらねばならぬムードを自治体の中に漲らせることが第一なのだ」と当時の持田館長さんはいわれたそう。

5. 積立金で台所を

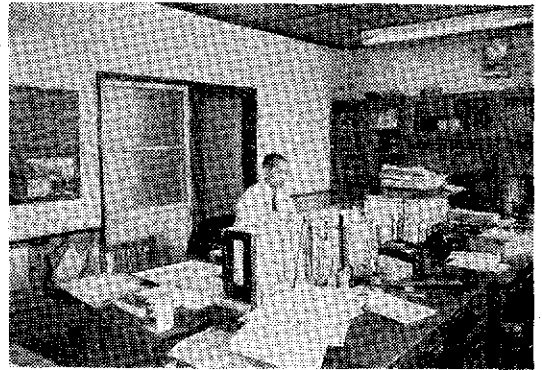
名称は町民会館ということで建てられたが、設計は折柄とされた設備基準にあわせて公民館として設計され十五年十一月NHK「青年の主張」県予選会を記念行事に開館された。

建設の原動力となった婦人会の積立金は台所の内部施設費として活用され、また婦人会が中心となって進めてきた新生活運動のひとつ公営結婚の式場として立派な日本間もつくられた。

6. 施設こそ公民館

建物ができて感ずることは

「まず落ついたこと、活動が盛んになったことだった。今までの断片的な活動から計画的、継続的な活動が系統だててやれるようになったこと



〔写真は事務室でますますはりきる小暮主事〕

で、婦人学級がそのひとつの例ともいえる。

- 2) 「今までどこでどうしていいのだろう」と理事者たちが不思議がるほど、諸団体、の館を利用しての自主的な活動が活発となり、施設そのものが何よりも雄弁に公民館を理解させた。しかし建てるためにはとに角、住民と理事者に理解してもらわねばならぬのだ。
- 3) 施設のない公民館は予算の上でも吹けばとぶような存在で、しわ寄せ項目、ごまかしのきく存在でしかなかったが、施設によって予算の上でも確固たる位置をしめるようになった。

7. 仏つくつたら魂も

施設ができた成人になったとはいっても問題点はある。いま一番ほしいのは最小限度三人の職員だ。施設の機能を活かす運営管理、利用者へのサービス、そして中央館としての分館活動推進のためにも。教育機関として名実ともにその機能を発揮するためには、館建設以上の熱意がその中味にも注がねばならぬ。「仏つくつたら魂も」ということだ。

内部施設については町出の成功者からのテレビの蓄積などもあって充実しつつあるが、体育施設をぜひ充実したいとのことだ。この間助役さんになられた五十嵐館長さんのお話では、敷地続きの田を買収してコート二、三面位はとのこと。

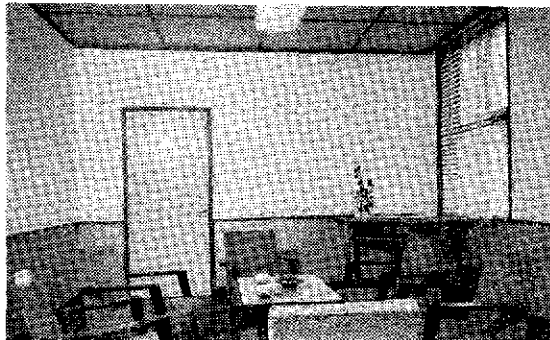
8. みずからの力で

「施設ができた現在でもこのように問題は沢山ある。しかしひとつは燃え上った住民の公民館活動への意欲は、必然的にそれらの問題を自分たちの力で解決していくことでしょう。住民が公民館を自分たちによって必要欠くことのできない施設なのだということは、はっきり目ざめること、そしてそのための活動が何より大切なのではないでしょうか。三人は最後にこのように語られた。

十四年にして成人したこの公民館。その間リーダーシップをとられた関係役員各位の労苦をしのび、さらに明日への発展を祈りながら前路ふりかえって北条町公民館は、優良公民館を象徴するかのよう秋の日ざしをうけて輝いていた。

(三八・九・一二記)

編集委員 徳間助夫



〔ゆったりとした応接、談話室、これからはこんな室もぜひ〕

尺感線描

関プロ大会初参加の記

徳間 助 夫

昔のうさぎは袖開襟、腰かけの頭が白く、挨拶の終らぬ中に上でアグラをかいて勤務していた。本田編集長から大会参加の原稿をのがワイシャツにネクタイ、上衣、命ぜられてしまった。以下まで出て参加した関プロ大会だった。その大会スナップ、寸感線描といだが、そぼそと、久しぶりの旅行が手ぶれも感したいスナップ行そして会場は荒涼川、申し訳なブ、廻して尺感線描が、ハハハ、い騒が祭り気分が半分、初めての関プロ大会への緊張感が半分。

この朝、浅草駅で我慢して着ておった上衣を脱いでしまおうかと、思った。五十嵐先生が見えらされた。かねて紳士と尊敬しておった。駅頭に飛田、梅川、木山三三た先生だに東京でも立派なもの

予想以上の参加者が会場変更して行なわれた鬼怒川公民館での開式。スタートからハツスルして最前列に陣どつた。まはまかつたが、講演後半には満員夜行列車の被れのせいか睡魔に悩まされ、座り直したりノートをとったり、まにまにどがどう変ったかをはっきり知り損なはらぬ。

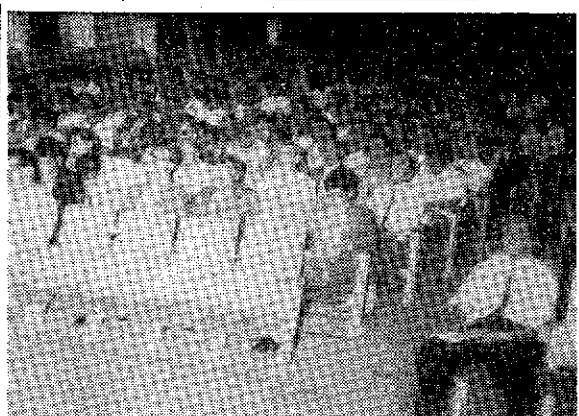
米園での見聞をもとに最近の日

一年中「これだいのか」とひいて、私はやっぱり鬼怒川にきてよかったとおもった。

軍政部長で設置された看板公民館が現在の貧弱な施設となり、さきに住民や理事者たちに公民館への誤った認識を植えつけた。しかし、貧弱な施設は職員の研究意欲をかきたて、佐渡の訪問集会をして全国でもはじめてという職員の日

本場の現状を衣食住、人間関係と異体例を示し、さらに現代の二つの魔物。科学技術。マスコミと対決して「豊富な中の貧困」を考へなさい。人間的から繁栄の中に「人間らしい生き方」を見つけて出す公民館活動をしてそのために公民館人、目を開け、はっきり見よ、小さなセクシヨナリズムを捨てよ。

伊藤謙助のナマの話を身体中できいて、私はやっぱり鬼怒川にきてよかったとおもった。



【十都県から集まった参加者の面々】

長期講をながからの分科会での私の現習とな杖発表(まったくお相末、インスト)で申し訳ありません。

最近よく夜の編織パーティーでは、県勢を公民館代表して湯沢町公民館長さんが、への住小節とパンチのきいた、米山尾句民と理と、油分を披露、満場の拍手を筆者の喜びました。

認識が眼鏡を額に片ひきたてて海外の独立館同志と敬称する飛田会長さまの姿の新築に私はふと甲田先生を思い出した。もふえ、そして、かつての鬼怒川での全てきた国大会で勇名をとどろかしたといは冷汗などおもし出し、なつかしい衝動

夜は柏崎での県大会にひきつろき飛田会長、柏崎小林課長さんの間で閉幕が行なわれた。積重ね方式の困難を乗り越えたが、このお三方の合戦は、既後もイビキで行なわれ、同輩の借金を悩ました。

私が参加した専用施設をもつ都市の公民館(郡会)、助高に飛田会長、司会梅山副会長で行なわれたが、なかなか和やか。充実した成功した郡会のひびつたとおも。お二人の司会、助高ぶりに私は伝統ある新潟県公民館活動の

一面とお二人の豊かな人間性ぶれたおもしろい。

閉路、鬼怒川から日光へのバスの中で、三百年の歴史をもつという争々たる杉並木をながめながら、この杉のように強くまっし、どしどしとした公館長の明日の姿を考えてみた。

(三八年九月月記)(柏崎市中央公民館主事。



【写真は海軍士官時代の松苗氏】

ベテランのプロフィル

東頸城郡安塚町公民館主事 松苗俊吉氏

三十九才までは海軍最も生き生きとした面が遺憾な軍、戦後約八年間斗く表現されるときでもある。ま病、二十七の暮かた年令に似合む。毎年スの教養に勤務。兵役キで教養を養頂したり二十年のうち七年間は三才級の卒を一つずつ登は教育の仕事にたずねられたりもする。マーシャンにさわっていたという寝食を忘れるかと思は、一方カッパが、陸にいが「あらこの会」の名義委員上ったま、社会といふことになっている。

教育にはふさわしく、自慢のひとつは、海防艦八ながそうでない。紳でめすしがつて輪をつつて的なるわらわら物、折目正いる人々の中で、目標と立ち話しは、往年の海軍大尉の姿を穿するは感懐だつたことだそ彷彿とさせ、感懐した時々しうた。

成人講座、県妻婦人学、家庭は、すでに高校を了えた級、農業経営講座など、かつて一人屋茂樹君を大坂に出した年月火水木金そのままで動、しす夫夫人とのひっそりときわわっている。

行動圏は、東はハワイ、南は、初の県公民館職員講習ではタスマニア、西はマレーから北「親分」にまのりあられ、一は計略家というだけに、話ば系乱れぬ総力を發揮、活躍しつつしか戦艦、空母、潜水艦のた。昨年度はまた社教主事講習ここに及ぶ。で資格も得た。

専攻が算学、深い人間学と人あたりのよでは、善に對し、現場にきたえられた手では、詩的な一腕、条件にの不足もない、あるいは物望新らしい社教主事の誕生もま近的活躍とないことだ。【又、編集する話(き部)】

ない、氏の

三宅猫日記

10月10日 うさぎ、かす



辺地へ図書をおくる運動をすすめよう

— 辺地読書普及運動実施要項 —

1 趣 旨

山村辺地の多い新潟県の読書普及運動は、関係者の努力によって近年とみに盛んになってきた。また速かく地の読書環境も、学校図書館・公民館図書部等の充実によって、逐次改善されている。しかしながら、山村辺地における図書の絶対量はいぜんとして少く、したがってまた山村不読者層の開拓、辺地読書普及運動の推進は、さわめて困難な事情にある。

このような状況を考え、「辺地へ図書をおくる運動」を、きたる10月27日より始まる読書週間を機会に1ヶ月間、県民各位の協力をあおぎ当読書推進協議会が中心となって実施し、辺地の読書普及運動に寄与しようとするものである。

2 主 催

新潟県読書推進運動協議会 新潟県公共図書館協会 新潟県学校図書館協議会 新潟県書籍雑誌商組合

3 後 援

新潟県教育委員会 各新潟社 NHK BSN 新潟県公民館連絡協議会

4 期 間

昭和38年10月27日(読書週間開始日)より1ヶ月間

5 寄贈図書の種類

青少年向・成人向図書で種類を問わない。(伸し雑誌をのぞく)

6 収書目標

約15,000冊

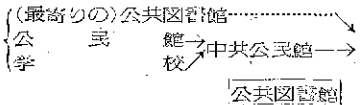
7 寄贈先

辺地の学校公民館等約50校館

8 収書方法

- (1)寄贈者より最寄りの図書館、公民館、または学校へとどけてもらう
- (2)図書館(図書館のない場合は中央公民館)は、市町村内の寄贈図書をとりまとめる。
- (3)公民館でとりまとめた図書は、最寄りの図書館と連絡し、図書館へ送付する。

寄贈者→



9 辺地施設への送付方法及び期日

読書推進運動協議会と連絡調整のうえ、各公共図書館より12月上旬に辺地へ送付する。

10 経 費

- (1)公民館、学校から中共公民館への図書の移動に要する経費及び中央公民館より最寄りの公共図書館への図書の発送に要する経費は図書館又は中央公民館等にて負担願う。
- (2)公共図書館より辺地への送料は、読書推進運動協議会が負担する。

11 その他

趣旨普及のためのチラシは、読書推進運動協議会が作成する。

現代絵画秀作五十人展

現代絵画秀作五十人展は、現代 合計四点を運び、所蔵家の賛同で日本最高の絵画百点あつめたものこの展覧会が開催される。出品作家は日本の画壇の最高峰に現代作家の作品では日本一の絵画活躍中の大家ばかりを各方面からこの期間新潟に集められてしまつて、そしてその作家が多いすべからずともいえる。展覧会として大言は話題になつてい

主催、県、市両教育委員会
日本画 大和百貨店...洋画
十日(会期中無休)
一、会期 十月二十五日—十一月十日
一、会場 新潟市小林白貨店
新潟日報社

作家も広く各派から選ばれているので美術愛好家はもちろん一般の人達にも見のがせない大展覧会

われらのグルッへ

越路町文雅会
「横はえにかにありが文雅雅会」この迷句こそ私たちが文雅の性質を端的にあらわした言葉である。個々の芸術観、技量はまちごにかなりありがにの者があるからである。会員総勢十四名、自他ともに許す芸術家の持主のみしか入会できないという、当町又六人のトップ・グループである。会長は近藤町村でも高い器用の大匠匠さん。幹事は詩や俳句をよくし、上履書道会の会員でもある新開屋さん。竹上芸の日展作家や、県展(日本国)作家もいるほか、団員と漫談の大家を自負する農務組合長等々、まことに多岐にわたる。

活動はこれといった団体行動による事業はなく、お互いに余暇をみては訪問し、訪問され、同の文化振興や自己の芸術観等について議論するのが楽しみといたった「日」学習による活動方式である。しかし、町の文化祭行事の根本方針を案出するものこのグループである。町長、教育長等も顧問として総会に出席するがここでは政治的発言は一切タブーとされ、好ましい会議風景である。そのうえ総会には必ず新書や書きによる迷句が与れるのも、会員としての楽しみでもある。書き出しの迷句もこのようにして与れた。発定以来十二年間、会員も町村合併により七名から十四名となり、固言し、規則も案出もなっており、社教関係団体という法的定義にはあてはまらないが、町文化振興上に見のがせない成人のグループである。

会長 藤井正(医師)
幹事 長谷川清治(新聞記者)
事務 深井善喜(神社教士)

